



<本年度会長方針>

あらためてロータリーを考えよう No.1147

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1349回例会

ロータリー理解推進月間
平成24年1月19日(木)
職業奉仕卓話
於 名古屋東急ホテル

出席計算数
51名中40名出席
出席率78.43%
前及前回出席率100.00%

「ロータリーソング」
大須ロータリーソング

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

株NTTネオメイト東海支店ネットワーク部ネットワークオペレーションセンター担当課長
堀川 昌裕さん

ピクチャー

名古屋RC 野口 宏さん
名古屋南RC 遠山 孝次さん

ニコボックス

堀川さん、卓話よろしくお願います。
川畑 博敬

石田 浩之・田崎 雅三
2月4日ヒルウォーキング部の冬山登山を行います。是非たくさんの方のご参加お待ちしております。

昨年末に新沼 操さんを偲び会を行いました。
前田 隆久
参加者一同

会長挨拶

先週、イタリア国債償還について資金の準備が出来ない場合、今

年の6月末まではEFFSFから資金を出すか、IMFが資金を出すか、ECBが資金を出すか、頑張りつつイタリア国債を売るしか選択肢が無いと言いました。そもそもユーロ圏の国が救済を受ける事になった場合、1. 欧州金融安定メカニズム(EFSM) 600億ユーロ、2. 欧州金融安定ファシリティー(EFSF) 4400億ユーロ、3. IMF 2,500億ユーロ 合計7,500億ユーロをもって救済する事になっていきます。

そのEFFSFと云うのは、ユーロ圏17カ国がECB(欧州中央銀行)への出資比率に応じて最大4,400億ユーロを保証してAAAの格付けの債券を発行し低金利の資金を調達し救済国に貸し付けると言っているもので、もし保証ができない国が出た場合は残りの国で4,400億ユーロの総額を減額して再調整する事に本来なっています。

もし、イタリアが支援される側に回った場合はEFFSFの資金枠は約785億ユーロ減額されます。すでにギリシャ・ポルトガル・アイスランドが支援される側になっており、その3カ国への支援額は約1,000億ユーロ決定しています。そして、今年の6月末までに銀行の自己資本比率を9%以上確保する事を求めて、自力増資が出来ない銀行に対し強制的に公的資金を注入する資金として、1,

000億ユーロ確保しています。従って、EFFSFの資金で全て処理した場合、残り約1,600億ユーロしか残りません。先週の卓話でイタリアの6月末までの国債償還金額の合計は1,636億ユーロとお話ししましたが、本当にイタリアが支援される側になると大変です。またその上、スペインが支援される側になったら525億ユーロEFFSFが減額されますので、全く機能しなくなりそうです。(スタンダードアンドプアアス)が1月13日にイタリアとスペインの国債を2段階格下げしましたので、今後国債の金利が再び上昇したり思っ様に国債の売却ができなくなるかもしれません。また1月16日EFFSFを1段階格下げしましたので、調達金利がもしかして上昇するかもしれません。

そんな事態を想定して、去年の12月中旬ユーロ圏諸国が1500億ユーロ出資し、あと500億ユーロを世界の国々に出資を呼びかけ、2,000億ユーロをIMFに資金を追加供給しようとした。結果1,500億ユーロ+? になりました。

IMFは、1944年7月にアメリカのブレトン・ウッズで開催された国際会議で事実上のトップの専務理事は欧州から選任される事と決められています。今はフランスの女性のラガルドさんが専務理事です。ところが、この専務理事の権限があまり大きくないので

です。IMFでの重要な決定は出資比率85%以上の得票が必要なのです。出資比率1位はアメリカで17.40%、2位は日本で6.5%、3位は中国で6.4%、4位はドイツで5.6%、つまりアメリカの同意のない事項は可決されないのです。IMFの残金をユーロ諸国が使つ事に反対している国の一つがアメリカです。

職業奉仕卓話

「3・11NTTはいかに」

社会的使命を果たしたか」
株NTTネオメイト東海支店
ネットワーク部ネットワーク
オペレーションセンター担当課長
堀川 昌裕さん



堀川 昌裕さん

3月11日。未曾有の大震災が東日本で発生し、3県を跨ぐ広範囲な地域で津波による壊滅的な被害を受け、NTTの通信設備も大きな打撃を受けました。災害時、NTTは電気通信事業法等の各種法令に基づき、グループ会社全体で協力して復旧支援活動にあたる使命を持っています。

今回の場合も、地震発生直後よりNTTグループ一丸となり、被災状況について昼夜を問わず把

握・共有し、考え得る復旧機材や支援物資を準備、第一陣の出動班を組織し、西日本の各拠点から被災地に向けて出発しました。

これは政府や県の要請に基づいたものでは無く、NTT自らが行動し、現地でお客様要請に即応するという社員一丸となったNTTマインドによるものです。

NTTネオメイト東海支店も東海エリアのグループ会社と協力し、翌日には被災地に向けて第一陣が出発しました。

現地向かう道中、食糧や燃料等の物資調達の困難に何度も遭遇しながらも、早く被災地に到着し、復旧支援活動を開始するという使命感で少しずつ前進、被害の見え始めた東北道を走行し、福島原発の水蒸気爆発による放射能漏れのニュースも入る中、宮城県仙台市入りを果たしました。

そこは県全域で停電し、信号機も点かない街中を避難とガソリンや食糧を求める人や車で大混雑している騒然とした状況でした。

宮城のNTT災害対策本部に到



着すると、まず最初の支援活動が、また陸路が確保されていない気仙沼市と南三陸町の被災地へ陸上自衛隊ヘリでの災害対策機器の輸送指示でした。

防災演習でヘリ輸送の訓練をしているメンバーがいるとは言え、実践となると動揺と極度の緊張が高まる中、「訓練通り」の掛け声で全員が冷静になり、避難所に一刻も早くご家族の安否を伝える電話の設置をするという思いで、救護者搬送のヘリで場内が騒然とする中、作業を完了しました。

また、宮城県の中でも比較的陸路で入る事が可能な石巻市内への現地入りを果たした際には、設営前から電話利用の順番待ちの列が出来、時間との闘いの中、震災後初のポータブル衛星設備による無料公衆電話の設置を行いました。

ここでは、多くの避難されている方から感謝のお言葉を頂くと共に、ご家族との涙ながらの電話でのやり取りを聞き、メンバー全員が自身の使命の重みを改めて深く感じました。さらに、福島原発から70キロメートルの避難所での設営も行いました。放射能への不安に加え、また東北の3月は吹雪くような降雪があり、氷

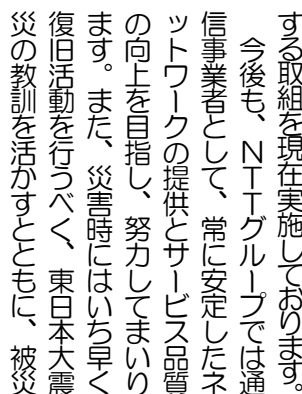


点下での凍えるような厳しい冬の野外の野作、設備作業となり、日頃訓練している作業とは言葉、思つように進まない困難な設営となりました。

今回、私を含め17年前の阪神淡路大震災を経験したメンバーでさえ目を疑うような光景で、余震が続く中、再び地震が起きて津波がくれば死ぬかもしれないという不安も感じながらの作業ではありましたが、被災された方とのやり取りを通じて、NTTの社会的使命をメンバー全員が感じ、色んな事に気づき、今後に備えるべき「物」や「事」も明らかになりました。それらを一つ一つ災害時の復旧における「想定外」から「想定内」とする取組を現在実施しております。

今後も、NTTグループでは通信事業者として、常に安定したネットワークの提供とサービス品質の向上を目指し、努力してまいります。また、災害時にはいち早く復旧活動を行うべく、東日本大震災の教訓を活かすとともに、被災

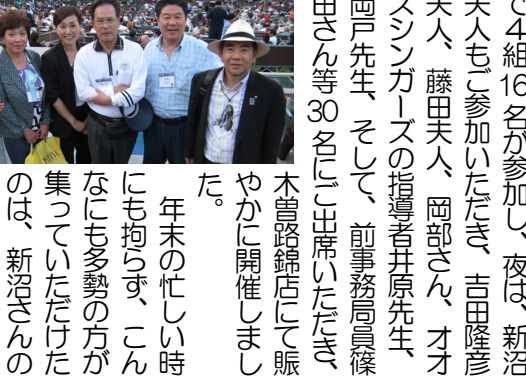
された方々の立場に立った活動を行うてまいりますので、引き続き、「安心」「安全」「信頼」のNTTグループをよろしくお願ひいたします。



避難所「初」の特設公衆電話の開設の困難を乗り越えてNTT車両到着と同時に避難の方々、報道から「声」を受け「どのくらいで電話できるのか?」中国等外国人の方は「国際電話はできますか?」と皆様に「国際電話とは別に多く大きくみながら」声を背に受けながら作業中。 緊張で手が震えた

故新沼操氏を偲ぶ会

世話人 草野 勝彦
吉田 明夫・木村 光徳
「故新沼操さんを偲ぶ会を平成23年12月17日開催しました。昼間は、新沼さんが最もよくプレイをした猿投カントリークラブで4組16名が参加し、夜は、新沼夫人もご参加いただき、吉田隆彦夫人、藤田夫人、岡部さん、オオシンガースの指導者井原先生、岡戸先生、そして、前事務局員篠田さん等30名にご出席いただき、木曾路錦店にて賑やかに開催しました。



年末の忙しい時にも拘らず、こんなにも多勢の方が集っていただけたのは、新沼さんの



08年ロサンゼルス(右)、10年モントリオール(下) R-1世界大会 (写真提供) 吉田隆彦さん

人柄そのものであるとつくづく思いました。皆さんから、新沼さんの色々なエピソードが紹介され、新沼さんの心遣い、細かいところまで目が届き、何事も嫌と言わずに協力していただいていたことが目に浮かびました。

新沼さんには安らかに眠っていただきたいと思いますが、近い将来、ゴルフ対決ができるように十分練習しておいて下さい。またお会いするのを楽しみにしております。



2月2日(木)例会の案内
例会変更 2月3日(金)
節分例会(職場例会)
於 大須観音 本堂上会議室
12時00分 受付
12時30分 開始

広報委員会 酒井 修
吉田 明夫・松永 裕子
小野 定男・西鶴 智香
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。

